

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

### 4-1 プロジェクトの効果

#### (1) 直接効果

##### ① 裨益人口

本プロジェクトの対象地域は、中国の9省2自治区となり総人口は約4億3千5百万人である。そのうちプロジェクトで直接的にカバーされる人口は、35%の約1億5千万人である。さらに、供与される抗結核薬で直接治療が受けられる患者は、約4万5千人と推定される。

結核の治療は、DOTS 戦略(特に短期化学療法)に基づかない治療では1年以上の長期の治療期間が必要で、治療費の負担の重圧と生計の確保のため途中で治療を中断せざるを得ない患者も発生し、治癒率も低い。これに対しDOTS 戦略に基づく治療では治療期間が6～8ヶ月と短縮され、適切な患者管理も行われる。さらに中国政府は、日本の援助により供与される資機材を用いて治療を行う結核患者に対し、無料で診断・治療を行うこととしているため、治療を途中で中断し治癒しない患者が減少し、高い治癒率が期待される。

##### ② 国家結核対策「全国結核病予防および抑制計画(2001-2010)」に対する貢献

本協力対象事業は中国が計画している2005年までにDOTSカバー率を全人口の90%に達成させるためのスタートとなる初年度に対する協力であることから、この国家目標の達成に対し大きな貢献をすることとなる。

#### (2) 間接効果

##### ① 患者及び家族への経済的効果

結核の治療は、上記のとおり長期の治療期間が必要で、患者は経済活動が制限され貧困地域住民の経済的困難をさらに大きくしている。本プロジェクトでは無料で結核の診断・治療が提供され、治癒により経済活動の制約が最小限にとどめられるため、患者本人はもとより家族にとっても治療費支出及び生計面での経済的負担は大きく軽減される。

##### ② 地域社会への経済効果

結核治療をもし病院で行う場合、約4万5千人の患者を治療するためには、500床規模の病院を約5つ(結核専門病院の平均在院日数20～25日に基づく)新たに建設しなければならない。さらに、病院では一日あたり100～165元必要であり、患者一人を完治させるには2～3.5万元が必要となる。DOTS 戦略では患者一人あたりの治療費は200～300元であり、DOTSの地域社会への経済的効果も非常に大きい。

##### ③ 新たな感染の予防

結核は単にその本人が苦しむだけでなく、家族や近隣者に感染させる可能性が高い疾病のため、

治療を受けた本人の回復だけでなくその家族や近隣者への感染が軽減されることになる。このため、対象地域社会全体にその効果が波及すると判断される。

#### ④ 世界・地域の結核対策への貢献

本プロジェクトは、世界第2位の推定結核患者発生数を有する中国において、WHO の「Stop TB Initiative」に呼応し、日本の技術協力や WHO との連携・協調を以て実施される予定である。また、西太平洋地域の優先課題として推進されている結核対策に対し、結核患者届出の過半数を占める中国における結核の改善は大きく貢献することになり、西太平洋地域さらに世界の結核対策に寄与することとなる。

#### ⑤ 日本の無償援助協力の広報効果

供与される抗結核薬の包装、箱、注射器および患者啓発用パンフレットに日本の無償援助であることを明記することとし、またプロジェクト実施サイト全て(全 435 箇所)に無償援助の銘板を掲示することから、中国国民に広く日本の援助協力が直接理解される。

## 4-2 課題・提言

### (1) 技術協力・他ドナーとの連携

中国では、1991 年以來 DOTS 戦略に基づく結核対策プロジェクトを実施している経験を有しているが、対象地域においてはまだ経験を有していない地域が多く含まれること、さらに関連する職員も膨大となるため、診断技術・管理技術レベルを一定に確保する必要がある。このため、中国側からは日本人専門家派遣・研修員受け入れによる技術協力の要請が出されている。さらに、現在すでに WHO からの支援も行われているが、引き続き支援が得られるよう関係機関への働きかけが必要である。

### (2) プロジェクト実施予算の確保

サイトである県レベルは 315 箇所と多いことから、全ての末端プロジェクト実施サイトの予算について中央レベル、各省レベルの監督機関からの十分な指導が重要である。さらに、結核対策は、協力対象事業の期間 1 年間だけで終了するのではなく、継続して行かなければならないことから継続した予算確保が必要である。

### (3) 薬剤の在庫管理

本協力対象事業では、一年間分の抗結核薬を 2 度に分けてではあるが短期間のうちに各省・自治区に配布することとなっている。

このため、各省・自治区の監督機関は、下位実施サイトのプロジェクトの進捗状況を随時モニターし、地域によって過不足が発生しないよう十分な在庫管理が必要となる。このため、各省・自治区レベルでの適正量を一時保管し下位実施サイトの状況に応じ配分することが必要である。

#### (4) 次年度の拡大計画と必要薬剤量の算定

協力対象事業は、薬剤1年分が対象となっている。DOTS 戦略に基づく結核対策において最も重要な項目は、薬剤の安定供給である。薬剤がとぎれる事態に陥ることは、結核対策に重大な影響を及ぼす。従って、本協力対象事業の対象地域に対する次年度の必要薬剤量と、次年度以降に拡大する地域の選定、薬剤量の試算等を早急に行い、調達方法を確保することが必要である。

### 4-3 プロジェクトの妥当性

本プロジェクトは、中国の貧困地域である9省2自治区の対象人口約1億5千万人の住民に対して実施される結核対策であり、貧困住民の経済的負担の軽減と疾病の治療に直接的に効果及ぼし、地域社会への経済的効果も大きい、さらに中国の進めている新国家結核対策の実施に資することになる。

このようなことから、我が国の無償資金協力による協力対象事業の実施は妥当性があると判断される。

### 4-4 結論

本プロジェクトは、前述のように多大な効果が期待されると同時に、本プロジェクトが広く中国国民のBHNの向上に寄与するものである。このことから本プロジェクトの一部である協力対象事業を、我が国の無償資金協力をもって実施することについては妥当性が確認される。さらに、本プロジェクトの運営についても、中国側体制は人員・資金とも問題ないと考えられる。

ただし、前述の課題・提言で指摘した事項は、本プロジェクトを実施する上で不可欠な要素であるため、中国側の確実な実施が必要である。

